

# 議会だより おかがき

No.83 3月定例会 平成23年5月10日発行

第5次総合計画 4月から ● 2～3

町政を問う ● 9～11

一般質問



定例会

3月

概要



耐震化工事が完了した内浦小学校

# 第5次総合計画 4月から

## 小・中学校耐震化補強事業加速 JR海老津駅南側開発事業開始

第1回定例会は、3月1日から18日までの18日間の日程で開催され、23議案、発議3件、請願2件について審議しました。

●本議会で提出された議案のうち、主なものは、

①平成23年度岡垣町一般会計・国民健康保険事業特別会計・その他特別会計予算

②岡垣町国民健康保険の一部改正

③岡垣町営住宅設置及び管理に関する条例の一部改正

④岡垣町企業誘致条例の一部を改正

議員定数3名削減により報酬等減額するも、議会費総額は増

強事業

舎・戸切小校舎・海老津小体育館（実施設計）吉木小校舎

小校舎

（町内空家調査）開始

事業

向けて準備開始

洋子さん（上畑）・成富啓倫さん（内浦）

### 平成22年度補正予算

#### ■増額した主な予算

- 小学校修繕等施設整備事業 359万円
- 厚生医療、補装具給付事業増 1602万円
- 障害者自立支援事業費増 1540万円
- 乳幼児医療事業費増 1028万円
- 競争力ある土地利用型農業育成事業補助金 918万円



### 平成23年度予算

- 国民健康保険事業特別会計繰出金 (国税不足分補てん9000万円を含む) 2億5161万円
- 公共下水道事業費負担金・補助及び交付金 4億4208万円
- J R海老津駅南側道路等整備事業費 3億4660万円
- 届出保育施設保育料補助 480万円
- 上畑、海老津線等道路舗装工事 3845万円
- 小学校教材等整備事業 1545万円

⑤平成22年度岡垣町一般会計・国民健康保険事業特別会計・そのほか特別会計補正予算

※採決の結果は8Pをご覧ください

### 発議・請願書

#### 発議

- ①町長の専決事項の指定について 全会一致で可決
- ②TPP(環太平洋経済連携協定)への対応に関する意見書 全会一致で可決
- ③「一人暮らしの寡婦」医療制度に関する意見書 全会一致で可決

#### 請願

- ①TPP(環太平洋経済連携協定)への対応に関する請願 全会一致で採択
- ②国民健康保険税の引き下げを求める請願書 賛成少数で不採択

- 議員年金制度廃止。
- 小・中学校耐震化補(耐震工事)岡中校(耐震診断)海老津
- 緊急雇用創出事業
- 地域ため池総合整備
- 町制50周年事業に
- 電算システム再構築
- 定年退職者は4名
- 人権擁護委員 神屋

# 岡垣町第5次総合計画 基本構想について

## 賛成の ポイント

### 住み続けたいまちづくりに 期待したい

賛成

大堂 圀治 議員

まちづくりの最高位である第5次総合計画基本構想の作成手法は、住民の声を基として今後10年間の発展を期に立てられることが重要である。そのような観点から、ワークショップなどの手法を用いて行財政運営全般にわたって進むべき道を明確に示してくれていると評価出来る。

自主財源比率の低い本町においては、国の政策に大きく影響を受けるので、柔軟に対応することも求められる。財政が厳しい中、住民の役割と責任が益々大きくなっていくと思うので、この基本構想を共有し協働力を発揮することが、何よりも重要な課題であると思われる。

木原 信次 議員



岡垣町の第5次総合計画を作成するにあたっては、良い町をつくっていくために、職員や、都市計画の学者をはじめ、町内各層、団体の代表者により英智を結集し、十分な時間と、討議を重ね制定された。「住みたい、住み続けたい。」と思える町を作っていくことにした。町民の方々が岡垣の良い所を十分に認識し、それぞれの立場で町のため、地域のために力を尽くしていただくことが「輝き」のある町ができることと思われる。この総合計画が完成したとき、今よりもずっと住み良い、いい町ができ、次の世代に引き継ぐことができることを期待する。

西田 陽子 議員

内容は評価する。が、今後への要望がある。計画策定過程の問題だ。住民からのパブリックコメントは数件しかなく、もつと住民参画の手法がほしい。審議会も6回しか開かれておらず(第4次は14回)メンバーも14人中女性は3人で21%。35%の目標には遠い。町の最上位計画であるから、男女の比率や兼任の制限、公募枠の拡大等検討してほしいかった。なにより傍聴ができ、会議録のホームページでの公開が必要だ。そのことでよりいつそう広く住民の意見を集約できる。今年には障がい福祉計画、高齢者福祉計画策定の予定になっている。それらに活かしてほしい。

# 反対の ポイント

## 福祉の充実が満たされていない

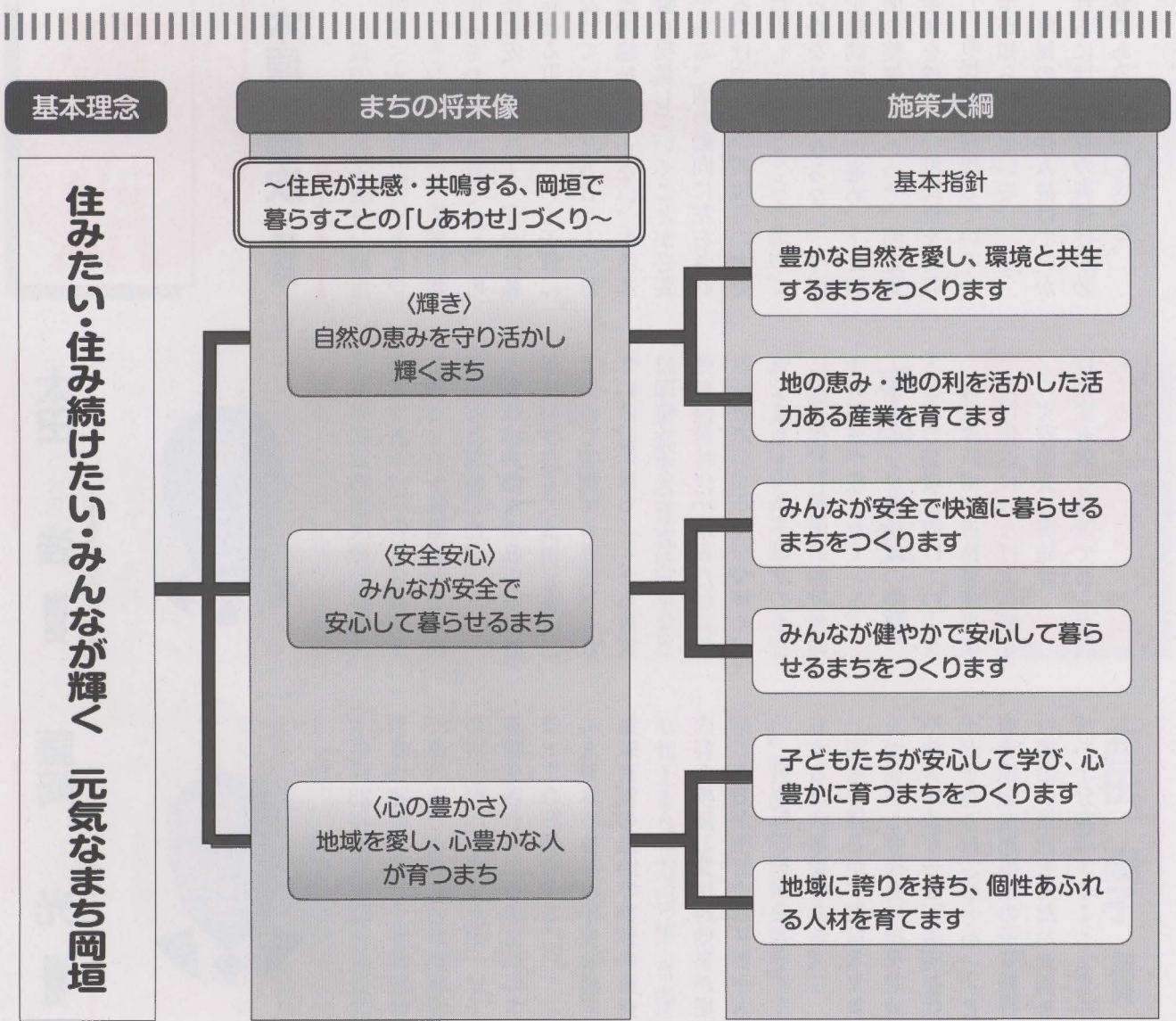
# 反対

平山 弘 議員

「住みたい・住み続けたい・みんなが輝く・元気なまち 岡垣」を目指すのは当然であるが、問題点は「選択と集中」という、民間企業の経営手法による行財政計画である。

「選択と集中」は、敬老祝い金・敬老特別祝い金、私立幼稚園就園奨励金を縮小、東部保育所の民間移譲や、いこいの里の入浴施設、老人憩いの家など、公共施設の管理・運営の民間委託、補助金の見直しや役場窓口業務も民間委託する方針である。

高齢者の方や、障害者の方や低所得者の方など、社会的弱者の立場に置かれている人たちに、福祉の温かい光が当てられていくのが問題だ。



### 基本理念

住みたい・住み続けたい・みんなが輝く 元気なまち岡垣

### まちの将来像

〜住民が共感・共鳴する、岡垣で暮らすことの「しあわせ」づくり〜

〈輝き〉  
自然の恵みを守り活かし  
輝くまち

〈安全安心〉  
みんなが安全で  
安心して暮らせるまち

〈心の豊かさ〉  
地域を愛し、心豊かな人  
が育つまち

### 施策大綱

基本指針

豊かな自然を愛し、環境と共生するまちをつくります

地の恵み・地の利を活かした活力ある産業を育てます

みんなが安全で快適に暮らせるまちをつくります

みんなが健やかで安心して暮らせるまちをつくります

子どもたちが安心して学び、心豊かに育つまちをつくります

地域に誇りを持ち、個性あふれる人材を育てます

# 平成23年度 岡垣町一般会計予算

## 賛成の ポイント

### 企業誘致条例の緩和で財政が 確保されている

# 賛成

木原 信次 議員

平成23年度の予算は、岡垣町第5次総合計画にもとづく「まちづくり」の発達の年にふさわしい予算である。町民に安心感を与え、安全に暮らせる町を作っていく予算になっている。3万3千人の町民の福祉をまかない、生活基盤を提供していくことが必要である。国の動向に左右されるだけでなく、岡垣町の力で自立していくことを進めていかなければならない。今回企業誘致を更に進め、JR駅南の整備に向かって、固定資産税を増収し、町民税を増収し、町民税を確保していく一歩が知らされている。

町民の方が住み続けていかれるには、予算の裏付けが必要である、と申し述べる。

太田 強 議員



本年度は第5次総合計画初年度であり、この総合計画を基軸として予算編成が成されていると判断した。

多岐にわたる項目の中で昨年に引き続き「選択と集中」でもって実施すると述べられている。出来ることから着実に即実施する意志が伺える。

今年、特に「住みたい、住み続けたい、みんなが輝く元気なまち」の基本理念のもとに、岡垣町の将来に向けての予算編成が成されている。

- ・ 積極的な企業誘致の姿勢
- ・ 将来の発展に向けてのJR海老津駅南側道路整備事業
- ・ 定住促進につなげる空家等の実態調査の実施等

は大変有効な施策であると判断する。

藤崎 光 議員



平成23年度岡垣町一般会計予算は賛成する。予算総額は85億5千万と厳しい財政状況の中、町民の生活を第一に予算編成されている事については一定の評価をする。

ただ本予算の中、JR海老津駅南側の道路等整備事業費が計上されているが、目的、内容を検証し費用対効果が期待できるか検討する必要がある。岡垣町の将来を大きく左右する重大事業である。

国家を揺るがす東日本大震災が発生し今後更に国家財政や地方財政が一層不透明な状況が予想される中での、JR海老津駅南側事業の予算執行は議会の機能を果たし責任を持ち十分審議することを求める。

# 大堂 圏治 議員

地方分権の進展や住民ニーズの多様・高度化で地方自治体として、行財政運営の舵取りが困難になってきている。

少子高齢化により、民生費などの比率が高まり義務的経費が上昇している。

予算の執行に当たっては無駄を省き、より効率的な行財政運営に一層の努力を望む。

行財政情報を住民と共有し協働のまちづくりを実行することが何よりも重要である。

企業誘致条例が緩和されたことなどを活かして、自主財源の確保に努めて財政の安定化を図ることが重要である。

町長は住民の声や力を大切にして、地域力や協働力を高めて明るい、元気のあるまちづくりの先頭に立つて欲しい。

# 下川路 勲 議員



下川路 勲 議員

厳しい財政状況のなか、町民の安心、安全の町づくりの為に、地域づくり交付金や、高陽団地等の空家実態調査の予算、農業・漁業振興に増額予算を組んでいる。

また観光費については、事業を見直しながらも皆が楽しくなる様に計画している。

教育の大切さや安全面も考慮し、いち早く耐震工事や調査費用の予算組み等には評価する。

JR海老津駅南側道路等整備事業費については、東北関東巨大地震の発生により国県の補助金については不透明な状況ですから、時間をかけて見直すべきと指摘し賛成討論とする。

## 反対のポイント

### 開発よりも教育・福祉の充実を優先すべきである

# 反対

## 平山 弘 議員

届け出保育施設保育料補助金、子宮頸がん・ヒブ・小児用肺炎球菌等ワクチンの無料予防接種、小中学校の耐震強化工事、緊急雇用対策事業などは評価する。

問題は「選択と集中により限られた投資的財源を有効に活用した実効性のある行政経営」の手法である。

これでは、第5次総合計画の中で述べたように、駅南側道路等事業の陰で弱い立場の人たちが犠牲になりかねない。

老朽化している木造町営住宅の建替え、障害者サービスの向上と雇用の場の拡大、小中学校の耐震化の前倒し工事、子どもの医療費無料制度の実施などを求める。

## 西田 陽子 議員

届出保育所保育料減免480万円、子宮頸がん等予防8千800万円、コミュニティバス4千150万円等評価できるものも多い。が昨年に比べ、不況のため町税は5千300万円の減収予算である。

JR海老津駅南側道路整備事業は1億7千600万円を国の補助を見込み、町の持ち出し4千100万円、借金1億3千万円である。内訳の用地購入費や家屋等補償費1億9千400万円がそれだけで収まるかどうかの懸念はぬぐえない。

これだけあれば吉木小海老津小耐震化の前倒し、小学6年までの医療費の無料化、35人学級、国保税の軽減等に使える。開発より子育て、教育、福祉に手厚くすることで人口増は図れる。

## 議案ほか決議について

議員の賛成○・反対●・除斥除・退席退・欠席欠

内 容	採決日	議席番号	1	2	3	5	6	7	9	10	11	12	13	14	15
		結 果	市 津 広 海	木 原 信 次	久 保 田 秀 昭	下 川 路 勲	石 井 要 祐	太 田 強	西 田 陽 子	竹 内 和 男	山 田 隆 一	平 山 弘	藤 崎 光	大 堂 圈 治	横 山 貴 子
三角善彦議員の辞職について	3月 1日	許可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議会運営委員会委員の選任について	3月 1日	同意	○	除	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	3月 1日	適任	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	3月 1日	適任	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
岡垣町第5次総合計画基本構想について	3月18日	賛成多数可決	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○
岡垣町国民健康保険条例の一部を改正する条例	3月18日	賛成多数可決	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○
岡垣町企業誘致条例の一部を改正する条例	3月18日	可決	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
岡垣町営住宅設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例	3月18日	可決	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成22年度 岡垣町一般会計補正予算(第4号)	3月 2日	可決	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成22年度 岡垣町国民健康保険事業特別会計補正予算(第3号)	3月 2日	可決	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成22年度 岡垣町老人保健事業特別会計補正予算(第1号)	3月 2日	可決	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成22年度 岡垣町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	3月 2日	賛成多数可決	○	○	欠	○	○	○	●	○	○	●	○	○	○
平成22年度 岡垣町水道事業会計補正予算(第1号)	3月 2日	可決	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成22年度 岡垣町下水道事業会計補正予算(第1号)	3月 2日	可決	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成23年度 岡垣町一般会計予算	3月18日	賛成多数可決	○	○	欠	○	○	○	○	●	○	○	●	○	○
平成23年度 岡垣町国民健康保険事業特別会計予算	3月18日	可決	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成23年度 岡垣町後期高齢者医療特別会計予算	3月18日	賛成多数可決	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○
平成23年度 岡垣町住宅新築資金等貸付事業特別会計予算	3月18日	可決	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成23年度 岡垣町水道事業会計予算	3月18日	可決	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成23年度 岡垣町下水道事業会計予算	3月18日	可決	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
指定管理者の指定について(いこいの里分)	3月18日	可決	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
指定管理者の指定について(臨海荘分)	3月18日	可決	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
指定管理者の指定について(岡垣サンリーアイ分)	3月18日	可決	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
新たに生じた土地の確認について	3月18日	可決	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
新たに生じた土地の確認に伴う字の区域の変更について	3月18日	可決	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
岡垣町道路線の認定及び廃止について	3月18日	可決	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成22年度 岡垣町一般会計補正予算(第5号)	3月18日	可決	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
町長の専決事項の指定について	3月18日	可決	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
「一人暮らしの寡婦」医療制度に関する意見書	3月18日	可決	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
TPP(環太平洋経済連携協定)への対応に関する請願	3月18日	可決	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
TPP(環太平洋経済連携協定)への対応に関する意見書	3月18日	可決	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
国民健康保険税の引き下げを求める請願書	3月18日	賛成少数不採択	●	●	欠	●	●	●	○	●	●	○	●	●	●

※議席番号4及び8は欠番です



# 町政を問う 一般質問

## 大堂

### 町民と共に新しいまちづくりを

## 町長

### 第5次総合計画に基づき協働によりすすめる



大堂 園治 議員

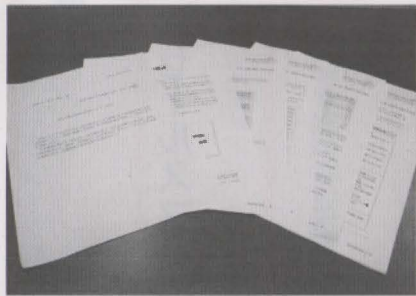
**大堂** 本町の町民の意識レベルをどのように評価していますか。

**町長** 誇りと町を愛する意識が相当高いと思っています。ボランティアやコミュニティ活動への参加動向にあらわれていきます。

**大堂** 第5次総合計画の役割をどのように捉えていますか。

**町長** 町の魅力を高め岡垣町に「住みたい・住み続けたい・みんなが輝く元気なまち」を目指して行きたいと考えています。

**大堂** 町の人口3万5千人の達成は困難であり、どの地区が増減するかを精査する必要がありますが、



審議会からの答申書

**町長** 政策的誘導による人口増と、人口分布についても検討していきたいと思っています。

**大堂** まちづくりの基幹である重点プロジェクトには町民の参画が必要だと思えますが。

**町長** 今後の進め方について検討していきます。

**大堂** 自立のまちづくりのためには、自主財源を増やすことが重要であると思えますが。

**町長** 企業誘致などを進め、いろいろな施策により自主財源を増やしていきたいと思えます。

## 平山

### 国保税の在り方をどう思うか

## 町長

### 所得の1割を超える負担は重い



平山 弘 議員

**大堂** 計画の実行にあたっては、5W1H法を駆使し、行財政管理についてはPDCAサイクル(※)を効率的にまわす手法で対応することが必要であると思えますが。

**町長** そのような手法を用いて行財政の効率的な運営に一層努力していきます。

※ P=PLAN(計画)  
D=DO(実行)  
C=CHECK(点検)  
A=ACT(改善)

べれば負担は少ない方ですが、所得の1割を超える負担というのはやはり重いと感じます。

**平山** 岡垣町の国保の実態はどうなっていますか。

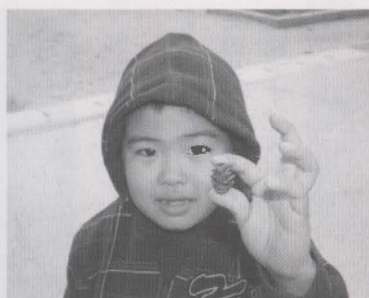
**町長** 国保は4709世帯、正規保険証4345、短期保険証164、資格者証200となっています。

差押え処分は21年度で62世帯。預金36件、不動産22件、給与・年金が4件です。

**平山** 国保は社会保障として、みんなが安心して病院にかかれるようにするべきです。

**町長** この制度の目的は国民

の医療をいかに保障するかであり、国・県・町が実施し、みんなを支えあう互助精神で成り立っています。真面目に納めている方が多い中、滞納者には被保険者としての責任と義務を果たしていただきたいと思えます。



まつぼっくり みつけた

○子育て支援について

**平山** ヒブ、肺炎球菌のワクチン接種について、町の助成をすべきではないですか。

**町長** 子宮頸がんワクチンの予防接種費用とともに、ヒブと小児肺炎球菌ワクチンも無料で実施する予算を計上しています。

**平山** 国は23年度までの期限付きだが、24年度以降も全額無料を実施していきますか。

**町長** 子どもを産み育てる環境を整備するため実施します。

## 竹内 企業誘致の手法は！

### 町長 私自らがトップセールスマンの役割を果たす



竹内 和男 議員

**竹内** 将来的に雇用や税収を生み出す企業誘致をどの様な手法で取り組むのかを尋ねます。

**町長** 町の組織改編で、産業振興課に企業誘致・商工観光係を設置し、自然環境に配慮した企業の誘致を目指します。併せて、町の発展の可能性を引き出す観点から、現行の企業誘致条例を一部改正し小規模なものも含めた企業等が進出しやすい環境をつくりま

**竹内** 空き家の有効活用を!!

**町長** 具体的な空き家対策の手法の検討を進める。

**竹内** 高齢化に伴う空き家の有効活用について尋ねます。

**町長** 岡垣町に定住を希望する人に、民間の空き家情報を提供することで有効活用が図れるのではないかと考えています。まず空き家などの程度、どの



地域にあるのか実態調査を行う予定にしています。この調査費は、県の緊急雇

## 西田 交際費の基準見直しを

### 町長 妥当な基準です



西田 陽子 議員

用創出事業として平成23年度の子算に計上しているところ

です。

**西田** 1月21日に遠賀信用金庫の案内で、宮地嶽神社の新年会参加費5000円が支出されています。御祓い初穂料が含まれており政教分離に反しています。

**町長** 参加者100名以上の中で御祓いが行われ、初穂料は遠賀信用金庫が支払っています。交際費は意見交換会の会費として支出したものです。

**西田** 接待を受けているのではないかと憶測を生み、政治倫理条例に抵触するのではないですか。

**町長** 何の憶測かわかりませんが、支出状況はホームページで支出日・内容・金額などを公表しており、説明責任を果たしています。



**西田** 町のトップとして、配慮すべきことは多いはずですが、住民の公益に適うか、その一点の問題です。支出基準や公表のあり方を見直すべきです。

**町長** 交際費は、町を代表して行動する際の経費です。今後5次総合計画に掲げる住民との協働と発展性をめざしたまちづくりを進めます。他にDV(ドメスティックバイオレンス)、資金管理の問題について質問しました。

曾宮

町制50周年記念行事への基本的な考えは

町長 町の歩みを振り返り感謝しながら祝う形に



曾宮 良壽 議員

曾宮 情報公開の一部として、「広報おかがき」があります。各種団体のお知らせ・案内も月2回、区長のお世話で各世帯に届けられています。

区長会を通じて、広報配布についてアンケートされましたが、庁舎内での検討結果と今後の対応について尋ねます。

町長 今後も広報は現行の形で継続します。しかし、できる限りチラシなどを廃止し、集約化をはかり、広報配布時の自治区の負担を軽減するように図って行きます。今後の課題については広報・広聴委員会で協議をしながら、さらに充実したものにして行きたいと思えます。

○町制50周年について

曾宮 樋高前町政の時に40周年を迎え、記念行事が行われました。実行委員会を組織し、財政的な配慮もあつて記念事業としては比較的地味な取り組みであったと記憶しています。50周年に向け準備もすでに始められておられると思います。

町長 基本的な考え方を尋ねます。新年度から住民の方にも参加いただき実行委員会を組織して、検討して頂きます



が、大きな経費をかけるのではなく、住民の皆さんと手作りで50年のまちの歩みを振り返り、感謝しながら祝う形にしたいと考えています。

50周年を機により一層、岡垣町に対する誇りや愛着を感じていただき、これからのまちづくりに繋げていけるものになりたいと考えています。

募 金

東北地方太平洋沖地震で被災された皆様に  
謹んでお見舞い申し上げます。  
1日も早い復興をお祈りいたします。

住民の皆さんのご支援で多く義援金が集まりました。  
議会としても県町村議会議長会及び日本赤十字社を通じて義援金を送りました。



町内での募金活動の様子

議会事務局職員が  
替わりました。



平成23年4月1日の人事異動に伴い、渡辺祐佳里書記が地域づくり課へ異動し、新たに水上明美書記(右)を迎えることとなりました。

議会事務局は、議会に関するすべての事務を行います。議会の機能を十分に発揮できるよう奮闘を期待します。

# 入学おめでとう

4月12日に町内小学校の入学式が行われました。  
緊張の中にも希望で一杯の新1年生です。



永年にわたる議員活動が認められ、功労者表彰を受けられました。

- ・全国町村議会議長会表彰  
曾宮 良壽議員(左)  
久保田秀昭議員(右)
- ・福岡県町村議会議長会表彰  
曾宮 良壽議員



## 編集後記

市津 広海

東日本大震災に伴い、福島原子力発電所の放射能汚染事故が発生しました。被災地域に対し、国を挙げて、一日も早く復興されることを願っています。

復興に向けて、多額の国費が投入される予定です。岡垣町にとりましても、今後地方交付税等の減額処置が、行われかねません。町の経営が益々厳しくなってくる事が予想されます。

今回の改選で半数の議員が引退され、大幅に議会も変わりました。今後執行部と新しい感覚を持ち合わせた議会で、岡垣町の将来を見据えて、住んでよい町、又住みたくなる町づくりに向け、活性化することに期待いたします。

### 発行責任者

議長 曾宮 良壽

### 議会広報特別委員会

- 委員長 横山 貴子
- 副委員長 市津 広海
- 委員 下川路 勲
- 委員 竹内 和男
- 委員 山田 隆一